

令和4年度 学校経営計画及び学校評価（達成状況）

1 めざす学校像

入学した生徒が、誇りをもって卒業できるよう、3年間充実した学校生活を送ることができる、自他ともに認める魅力ある学校
普通科・体育科、それぞれの学科の特色を活かしながら、学校行事や部活動、地域交流などの学校におけるすべての活動に積極的に参加し、それらを通して、実行力、判断力、自主性、協調性を備えた心技体のバランスの取れた人材の育成をめざす。

1. 学校行事や部活動を通して、リーダーを養成する。
2. ICT機器の活用など各教科において授業の創意工夫をし、コミュニケーション能力、思考力、判断力、表現力を身につける。
3. それぞれの学科の特色を活かした学びを通して、自覚と責任を身につけ、将来の目標設定につながるようキャリア教育を実践する。

2 中期的目標

1 「確かな学力」の育成と授業改善

(1) 学習意欲・態度を養い、学力の定着と向上を図るため、教育環境を整えて指導・援助する。

(評価アンケートにおいて、「分かりやすい授業が多い」「授業に積極的に取り組んでいる」の回答を前年度より5ポイント上げる)

「分かりやすい授業が多い」R3 64% R2 49% R1 45%、「授業に積極的に取り組んでいる」R3 79% R2 71% R1 65%

- 基礎・基本を定着させ、さらなる学力向上に向けて、教育力の向上をめざす。
- 学習態度・意欲を育み、自ら進んで学習する習慣を身につけ、自己実現していく態度を育成する。
- 各教科において、わかる授業の創意工夫や授業改善を積極的におこない、個に応じた学習指導の充実と授業の「質の向上」を通して生徒の学力の向上を図る。

(2) すべての教育活動を通して、生徒にコミュニケーション能力、思考力、判断力、表現力を身につけさせる。

- 全教科においてICTを活用した授業実践を積極的に進める。
- 基礎学力の定着と専門分野の技量の向上に向けて、主体的に学び、意欲的に達成しようとする姿勢を育成する。また、将来の目標を定め、自己実現に向けて持続的に努力できる生徒を育てる。
- 物事に積極的に取り組む姿勢を育み、自分の将来の目標に向けて幅広い知識と教養を身につけさせる。
- 社会に通用するスペシャリストの育成をめざし、演習形式の授業展開を推進し、生徒のプレゼンテーション能力の向上をめざす。

(3) 生徒の進路意識を高め、進路実現に向けて努力できる生徒を育てるとともに、キャリア教育の充実と進路指導体制の充実を図る。

(評価アンケートにおいて、「適切な進路情報」80%以上をめざす R3 76% R2 74% R1 64%

「きめ細かな進路指導」70%以上をめざす R3 59% R2 53% R1 47%)

- 組織的・計画的にキャリア教育および進路指導に取り組み、生徒の進路意識を高め、個々の進路目標の実現を支援する。
- キャリア教育の充実に取り組み、自己実現に向けて、実践的な素養を養う。
- 魅力ある専門学科として更なる発展を図る。

2 安全で安心な学びの場づくりと豊かでたくましい人間性のはぐくみ

(1) 自主自律の態度を育成するとともに、自他を尊重できる心を養い、良好な人間関係の構築をめざす。

(評価アンケートで、「本校に入学してよかった」「学校生活が充実している」と回答する生徒を80%以上とする。)

「本校に入学してよかった」R3 65% R2 61% R1 61%、「学校生活が充実している」R3 88% R2 85% R1 85%

- 生徒が充実感、達成感を感じ成長できる生徒ファーストの学校運営をおこなう。
- 全教職員がカウンセリングマインドをもって生徒・保護者に対して丁寧な対応をおこない、生徒に寄り添った指導を粘り強くおこなう。
- 生命や人権を大切にす精神を養い、生徒一人ひとりの人権意識の向上を図り、差別や偏見、いじめを許さない安心できる学校づくりをめざす。
- 障がいのある生徒の実態把握に努め、個々の教育的ニーズを検討し、合理的な配慮のもと必要な支援をおこない、環境整備に努める。

(2) 基本的な生活習慣を身につけるとともに、社会に役立つマナーへの意識を向上する。

- 基本的な生活習慣を身につけ、安心・安全に学校生活を送れるように指導援助し、自立心を育む。
- 心身の自己管理をしっかりできるように指導し、学校の環境美化に取り組む態度を育成する。

(3) 集団活動を通して、自主性や協調性を身につけ、集団の一員としての自覚を養う。

- 団活動・部活動・HR活動・学校行事を通して、生徒の積極性や自主性および協調性等を養う。また、これらの活動を通して、時代に沿ったリーダーの養成に努める。
- 個々の生徒がコミュニケーション能力、協調性や責任感、考える力を身につけ、物事を広い視野で見ることができる能力を育成するとともに、望ましい集団づくりをめざす。
- 学校行事や学年行事を通じて、生徒が主体的に活動に取り組むことにより、積極性や協調性を身につけ、社会に貢献できる人材の育成をめざす。
- スポーツを通して自己の人間力を高めるとともに、集団活動を通してリーダーシップ、フォロアーシップを学び、専門学科としての自覚と責任感を身につけさせる。

3 学校の組織力向上と開かれた学校づくり

(1) 地域に根づいた開かれた学校をめざし、他校種の学校園や地域との連携を充実させる。

- 地域との様々な関わりのなかで、地域に根づいた高校として、本校の魅力を積極的に情報発信する。
- 専門学科の特性を活かして、小中学校及び地域との連携を積極的に進め、生徒のリーダーシップ力と指導力を育む。

(2) 教職員の共通理解のもと広報活動を充実させる。

- 本校の課題解決に向けて、全教職員が互いに問題提起、意見交換をおこなえる土壌をつくる。
- 計画的、組織的かつ積極的に広報活動に取り組み、学校PRにおいて、より一層の成果を上げ、本校の認知度の向上をめざす。

(3) 健康で安心して働ける職場環境をつくり、汎愛高校の発展のために協働できる教職員集団をつくる。

- 教職員の健康の保持・増進のために、効率よい働き方を推進する。
(令和6年度までに教職員の平均時間外勤務時間を年次減少させ、令和3年度比6%以上減とする。)(R3累計 12月現在 49時間31分)
- 本校の現状把握および改善に至る具体的方策を検討する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年12月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>【学習指導等】 学習状況や授業に関しては、あまり自己評価としてはよくない状況である。たとえば、授業以外の放課後や家庭でも学習しているという肯定的評価は、32.7%であり、かなり低い状況である。それを打開するために、自習室の設置をしたり、進学補習を充実させたりしているところである。また、81.3%の生徒が、授業が分かりやすいと答えているが、取り組む態度についてはまだまだ課題がある。 教え方を工夫しようとしている教員は 82.6%おり、向上心をもとうとしているところが見受けられる。 また、図書館の利用に関しては、8.1%の生徒しか利用していると答えていない状況も課題である。</p> <p>【生徒指導等】 「汎愛祭に満足している」という項目に関して、肯定的評価が 92.5%であり、ここ数年コロナでできなかったことができたことにより、生徒の満足度が高まったと思われる。それに伴う団活動への取り組みも、88.8%の生徒が積極的に取り組んだと答えており、行事に対する生徒たちの意識と満足度が高まっていると思われる。 「子どもは学校が楽しいと言っている」の肯定的評価が 80%あり、保護者にとって、安心して学校へ通わせることができていると思われる。また、「生徒の進路希望にあったカリキュラムが設定されている」の肯定的評価が 58%であり、保護者にとって、カリキュラムの設定について、あまり浸透されていないことがわかる。魅力的な学校や、汎愛に入学させて良かったという部分については、肯定的評価は 80%を超えているが、広報活動等に関しては、あまり認識されていない状況である。確かに、本校の活動全体についてのPRが足りない状況であることは確かである。今後、保護者に対するアピールをより重視していくことが必要である。 進路指導に関して、一人ひとりに適した指導がおこなわれているかという点、24.9%の生徒が「よくわからない」と答えている。生徒が進路指導に関して、自覚ができていないことが課題である。 カウンセラーが本校へきていることを知っている生徒は、43.6%であり、カウンセリングを受ける機会を逃している生徒もいると思われる。もっと、広めていくことも必要である。</p> <p>【学校運営】 教職員に関しては、おおむね肯定的評価をしているが、仕事や職場での人間関係の悩みを抱えている教職員が 21.7%いることは、今後の課題である。やはり、連携した校務運営や、教職員の共通理解による教育活動の改善という項目において、70%前後であることが象徴していると考えられる。本校の課題を教員で共通理解できていないことが、教職員の間で浸透しきっていない状況であると考えられる。 生徒1人1台端末などのICTツールを効果的に活用していると肯定的な回答をする生徒は、80.1%いる。今年度から、1人1台端末が始まったことから、活用していると感じている生徒がこれだけいるが、教員側のスキルアップが課題である。研修等の機会を適宜設けることが必要である。</p>	<p>第1回学校運営協議会（令和4年7月26日） ①学校関係者評価を踏まえて、令和4年度学校経営計画を策定したことを報告</p> <ol style="list-style-type: none"> めざす学校像 どのような学校にするか明確である 中期的目標 現状分析を踏まえて、明確な目標が設定されている 本年度の取組内容 昨年度の反省を踏まえて、学力向上、新たな指導への取り組み等が考えられている <p>②学期の取組みを踏まえて（主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> 市立から府立になって、学校全体の組織、システムの変更があったと思います。地元、地域の皆さまも、その変化をまだ感じておられないと思います。汎愛は汎愛らしく、人のよさがあふれる学校となって欲しいと思います。 1人1台配付されたchromebookが有効に活用され、Wi-Fi環境についても、環境が整っていない生徒にはモバイルルータを貸し出す等の配慮がされている。生徒が自分の専門種目について「卒論」を書くための調べ作業を促す等、多様な活用が模索されている。全生徒にパワーポイントを使用したプレゼンテーションを実施し、質の高い発表活動を求める等意欲的な取組みが進められている。こうした取組みが新たなコースである「看護医療コース」にも活かされることを期待する。特に共通して「健康」をテーマとする「看護医療」と「健康スポーツ」については、学校現場における養護教諭と保健体育科の連携にも通じるものがあり、期待したい。 <p>③その他 本校への意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> 本校の印象 落ち着いている中で、活気があり先生と生徒の距離が近く、良い雰囲気である。また、新たな学校づくりに前向きに取り組んでいる。 生徒の印象 健康的で明朗快活で、エネルギーに満ちており、保護者や来訪者等への挨拶等の礼儀がしっかりとしている。 本校に期待すること 伝統と新しい取組みの融合による、学力向上と全学科の進学率の上昇にとっても期待している。地域に愛され、中学生たちがあこがれる学校 私学に負けない部活動 「看護医療コース」と「健康スポーツ」「アスリートコース」等との連携 特色を活かしながら、地元信頼され、愛される学校になってほしい。 <p>第2回学校運営協議会（令和4年12月12日） 「学校経営計画及び自己評価」（進捗状況）について 【質疑応答・意見・感想等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校行事が充実してきたと思う。 生徒の様子を見てみると、学校の様子がわかる。 コロナ禍であった今の高校3年生に対して、腹をくくって、行事を実施した意義は大きい。進学のための学習環境を整えるのも大切だが、二度と戻ってこない高校生活の思い出をつくることも学校の大事な役目だと思う。そこから考えると、今年度、さまざまな行事をおこなったことは重要である。 府立に変わったことで、システムの変更など大変だったと思う。それを生徒の不利益にならないようにすすめていると思われる。 市立から府立へ移管されたことにより、いろんな面で変わることもあると思うが、汎愛高校としての特色はずっと同じままであってほしい。 朝の正門指導をみていると、生徒に対して丁寧に対応している。その様子を見ると、汎愛高校の教員から生徒への優しさを感じる。 新学習指導要領の開始と、府への移管で激動の一年であったと思う。さらに、公立と私学のせめぎあいもある中、これだけの規模の学校でさまざまな数字が良好なのは、努力している結果だと思う。 市から府へ移管された中で、SC制度に疑問がある。月2回、SCが来校するのと、月1回とでは、やはり活用の方法も違ってくる。 <p>第3回学校運営協議会（令和5年3月16日） 令和4年度「学校経営計画及び学校評価」について 【質疑応答・意見・感想等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 汎愛祭が、例年通りおこなわれたことはよかった。こうして行事については、戻ってほしい。 図書館を自習室として開放している取り組みは評価できる。学校外に行くと、どうしても遊んでしまいがちになってしまうので、生徒たちが図書館に寄って勉強しようという雰囲気になると保護者も安心できる。 地元の中学校から見ると、汎愛の生徒たちはいつも楽しそうに登校している。また、中学校の卒業生も、みんないい顔をして中学校にあいさつにきてくれる。汎愛がそのような雰囲気をもっていると、地元の小学校や中学校が安心できる。 朝の登校時間に教員があちこちで交通指導等をしているのは、地域との関わりとしてありがたいことだが、教員がスリッパで行動しているのはよくないと思うので、改善してほしい。 働き方改革とあるが、部活動などで頑張っている先生のやる気をそぐようなことはしてほしくない。確かに、労働時間をみることも大切だが、その中身を大切にしてほしい。

令和5年度「学校経営計画及び学校評価」について

【質疑応答・意見・感想等】

- ・子どもたちが、学校に通って満足しているかどうかをみるのが指標だと思う。保護者や中学校の立場から見れば、入学した子どもたちが、汎愛高校へ入学してよかった、高校生活が充実している、また登下校の時にしっかり前を向いて歩いている姿勢があれば、それで充分だと思う。汎愛高校の生徒たちがそのように充実していれば、地域の活性化にもつながる。ぜひ、そのような生徒を育ててほしい。
- ・汎愛高校を卒業すると、挨拶がしっかりとできるので、人とのコミュニケーションを図ることができるようになる。実際に卒業生も、大学や企業で重宝される存在となっている。

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R3年度値]	自己評価
1 確かな学力の育成と授業改善	<p>(1)学習意欲・態度を養い、学力の定着と向上を図るため、教育環境を整えて指導・援助する。</p> <p>ア 基礎・基本を定着させ、学力向上に向けて、教育力の向上をめざす。</p> <p>イ 学習態度・意欲を育み、自ら進んで学習する習慣を身につけ、自己実現していく態度を育成する。</p> <p>ウ 各教科において、わかる授業の創意工夫や授業改善を積極的におこない、個に応じた学習指導の充実と授業の質の向上を通して生徒の学力の向上を図る。</p> <p>(2)すべての教育活動を通して、生徒にコミュニケーション能力、思考力、判断力、表現力を身につけさせる。</p> <p>ア 全教科においてICTを活用した授業実践を積極的にすすめる。また、授業や行事の中で生徒のプレゼンテーション能力を向上させる。</p> <p>イ 基礎学力の定着と専門分野の技量の向上に向けて、主体的に学び、意欲的に達成しようとする姿勢を育成する。また、将来の目標を定め、自己実現に向けて持続的に努力できる生徒を育てる。</p> <p>ウ 物事に積極的に取り組む姿勢を育み、自分の将来の目標に向けて幅広い知識と教養を身につける。</p>	<p>ア 年2回の公開授業週間をきっかけに積極的に他者の授業を見学することで、教員自らの授業改善、授業力向上を図り、個に応じた指導をおこなう。</p> <p>イ 生徒の学ぶ意識・姿勢を向上させるため、移動教室を含め、チャイムと同時に授業の初めの挨拶をするということを再確認し、徹底する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後の自習室の利用、補習・セミナーへの参加、スタディサプリの活用を促し、生徒の家庭学習習慣を定着させる。 多様な選択科目を設定し、選択科目説明会において、進路に応じた選択科目の選択例を提案する。 <p>ウ 各教科において、教科としての目標を設定するとともに、指導方法の改善を常に図るとともに、評価方法について、見直すことよって、授業の質の向上をめざし、生徒の学力向上に結び付ける。そのために、教科会を定期的に関き、指導法や評価法について意見交換を行い、職員研修等で情報共有をする。</p> <p>ア 「ICT環境を整備し、効果的にICTを活用した深い学びをすすめ、授業力の向上を図る」「1人1台端末を有効活用した授業展開を工夫する」ために、ICTプロジェクトチームの発足と諸問題への取り組み、教員研修の開催を行う。</p> <p>イ 体育科のコース制スタートに向けて、高等教育機関との連携を図る。スポーツ系の学科を保有する大学、または専門機関へアプローチを図り、出前講義の実施・専門施設の見学等を推し進めていく。</p> <p>ウ 自己実現に向けて、何をすべきか考えさせ、主体的に学習する態度を育成する。</p>	<p>ア 年2回以上実施する公開授業週間で、4回以上授業をおこなった教員を全体の8割以上とする。[52%]</p> <p>イ 生徒アンケートで、「私は始業のベルが鳴ると、教室で着席している」の項目で肯定的評価85%以上を維持する。[86%]</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケートで、「授業以外でも学習に取り組んでいる」の回答を5割以上とする。[41%] 成績不振者について情報共有し、教科担当が補習等を行い、成績不振者を減らす。 生徒アンケートにおいて、「本校は生徒の進路希望に応じた多様な選択科目が設定されている」の項目で、肯定的評価を75%以上とする。[71%] <p>ウ 生徒アンケートにおいて「分かりやすい授業が多い」の項目で、肯定的評価を70%以上とする。[64%]</p> <p>ア ICTを活用して授業をおこなう教員を全体の7割以上とする。また、授業以外での効果的な活用事例を増やす。[66%]</p> <p>イ 体育科全教員による大学・施設開拓アプローチを10箇所以上おこなう。[3箇所]</p> <p>ウ 生徒の成績を把握し、学年と教科担当で情報を共有し、生徒へのアプローチを図り、学年末の欠点取得人数を前年度(当該学年)より減らす。[1年3人、2年12人]</p>	<p>ア 3回以上が82%で4回以上が59%であった。8割以上の教員が3回以上行っており、概ね授業の相互観察は定着しているが、次年度は更に相互観察が進むよう取り組みたい。(△)</p> <p>イ 肯定的な回答は90%であった。選択科目が多い3年生に関しては、チャイム後に移動している生徒が少し目立つことがあった。(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> スタディサプリア到達度テスト後の課題配信や模擬テスト前の事前学習課題など家庭学習習慣の定着の取組みも行っているが、学校教育自己診断の回答は33%。(△) 2学後半からの図書館の放課後学習利用は約1ヶ月の統計で延べ88名が活用し、3学年としての取組みである19時までの自習室での学習は1日約20名の生徒が活用しており、効果は確実に現れている。 年間を通じて担任と教科担当が情報共有を行い、成績不振者に対しては、各学期末に担任から今後の取組みについて教科担当の指導を受けるよう促した。また、必要に応じて適宜、個人または三者面談を行った。(○) 肯定的な回答は77%。選択科目説明会においてきめ細かな説明を行うとともに個々の進路に応じた科目選択ができるよう支援し、今年度は申請後の科目変更にも柔軟に対応した。(◎) <p>ウ 肯定的な回答は70%。各教科において、常に指導方法や評価について話し合っており、特に観点別評価については、教務部が主体となって情報共有を行っている。(○)</p> <p>ア 全普通教室へのプロジェクターの設置や一人一台端末の整備により、8割以上の教員がICT機器の活用した授業を実施。また、進路において志望理由書の作成する際の1人1台端末の活用や、部活動における活用も進んでいる。(◎)</p> <p>イ 次年度開講の新たな実習に向けて計画的に進め、10箇所に実施。(○)</p> <p>ウ 卒業後の影響を理解させ、自分の将来と結びつけて考えるよう指導したが、昨年の水準を下回った。 1年12人、2年15人。(△)</p>

<p>エ 社会に通用するスペシャリストの育成をめざし、演習形式の授業展開を推進し、生徒のプレゼンテーション能力の向上をめざす。(体育科)</p> <p>(3)生徒の進路意識を高め、進路実現に向けて努力できる生徒を育てるとともに、キャリア教育の充実と進路指導体制の充実を図る。</p> <p>ア 組織的・計画的にキャリア教育および進路指導に取り組み、生徒の進路意識を高め、個々の進路目標の実現を支援する。</p> <p>イ キャリア教育の充実に取り組み、自己実現に向けて、実践的な素養を養う。</p> <p>ウ 魅力ある専門学科として更なる発展を図る。</p>	<p>エ ICT機器の導入・運用を推進する。昨年に引き続き、タブレット等を用いた授業展開を推進し、近年のトレーニング方法等を指導者・選手が周知できる環境を整えていく。さらに演習形式の授業を推進し、生徒のプレゼンテーション能力を向上させていく。</p> <p>ア 進路意識を高めるため、学年の進行に応じた進路指導及び、進路説明会など進路行事を拡充させて、オープンキャンパスや学校説明会、インターンシップなどへの参加を促す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒が自己の適性と能力を理解したうえで、主体的に・具体的に進路目標を設定できるように支援する。 各学年と進路指導部の連携をより密にし、情報共有とプランニングを図る。 進路関係における多くの情報から、必要なものを分析・整理し、生徒にわかりやすく伝えるとともに、保護者にも周知する。 <p>イ 体育科の特色を生かした授業展開や集中講義、特別講座を通して、自己の将来の目標を定め、それに向かって努力する生徒を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 卒業後の進路について、進学への意識、公務員講座への参加を促し、進路意識の向上につなげる。 <p>ウ 絵本の読み聞かせ教室を開催し、読み聞かせの技術のみにとどまらず、面接にも対応できる自己表現力を向上させる。</p> <p>ウ 新たなカリキュラムを確実に運用していき、コース制の意義を活かした教育活動をおこなう。</p>	<p>エ 卒業論文において、質の高い論文作成と発表活動を実施する。また、全生徒がパワーポイントを使用したプレゼンテーションを実施し、かつ質の高い発表活動に取り組む。 [全生徒プレゼン実施]</p> <p>ア 生徒アンケートで、「生徒一人ひとりに適したきめ細かな進路指導がなされている」の回答を70%以上とする。 [59%]</p> <p>生徒アンケートで、「進路に関する情報を提供してくれる」の回答を80%以上とする。 [76%]</p> <p>教職員アンケートで、「生徒の進路指導が適切に行われている」の回答を75%以上とする。 [69%]</p> <p>卒業時の進路未定者を昨年度より減らし、進路決定率100%を目標とする。 [11名]</p> <p>イ 体育科独自のキャリア教育を年間3回以上実施する。 [1回]</p> <p>公務員採用試験において、合格者5割をめざす。 [3割]</p> <p>読み聞かせ教室の回数、参加者数を前年度より上回る。 [14回、3人]</p> <p>ウ 各部活動の実績を、前年度以上にあげる。 [全国大会 1クラブ 近畿大会 7クラブ]</p>	<p>エ 年内に全員卒論を完成させた。3学期には全員がプレゼンテーションを実施した。(○)</p> <p>ア 肯定的な回答は61%。1学期に進路説明会・学校説明会、また、外部より面接指導を行った。次年度に向けてさらに丁寧な取り組みを行っている。(△)</p> <p>肯定的な回答は81%。(○) 今年度の取り組み内容 進路講話…7回/実力テスト…3回 志望理由書の組み立て…11時間</p> <p>教職員アンケートの結果は70%。(△) 今年度の主な取り組み内容 外部講師による学校説明会(3年5月) 模擬授業体験(1年10月) 学校説明会(2年1月) 3年生では生徒のニーズに応じて小論文や志望理由書作成指導、面接指導、インターネット出願への指導を体系的に行った。</p> <p>卒業時の進路未定者は19名。(公務員試験の結果待ち1名を含む)。(△)</p> <p>イ 体育科独自のキャリア教育は各専攻および科全体を合わせて10回実施済。(◎)</p> <p>合格率は52.6%(10人/19人)。(○)</p> <p>今年度の回数、参加者数は9回3名。部活動との調整が難しく、参加が難しい生徒もおり、そのあたりの調整が今後の課題である。参加した保育士志望の生徒には面接指導も行い、志望した大学に合格することが出来た。(△)</p> <p>ウ 全国大会5クラブ 水泳部、バレー部、ダンス部、弓道部、空手道部 近畿大会7クラブ 水泳部、空手部、弓道部、ソフトテニス部 陸上部、弓道部、なぎなた (◎)</p>
<p>2 安全で安心な学びの場づくりと豊かでたくましい人間性のはぐくみ</p> <p>(1)自主自律の態度を育成するとともに、自他を尊重できる心を養い、良好な人間関係の構築をめざす。</p> <p>ア 生徒が充実感、達成感を感じ成長できる生徒ファーストの学校運営をおこなう。</p>	<p>ア つぎのように、生徒が自主的に学校生活に取り組める多くの機会を提供し、きめ細かな指導・援助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年の枠を越えた団活動を通しての学び 学校行事(体育祭・文化祭)学年行事(1年HR合宿・2年修学旅行)体育科野外実習など生徒主体の組織運営の学びと実践 	<p>ア 生徒アンケートで、「本校に入学してよかった」「学校生活が充実している」の回答を80%以上。 [65%、88%]</p>	<p>ア 「本校に入学してよかった」の肯定的な回答は71%、「学校生活が充実している」の肯定的な回答は89%。(△) 今年度の主な取り組み内容 団活動ではクラスリーダーを中心に3年生からの指示を協力して実践し、来年自分たちが団を運営していく手法を学んだ。また、さまざまな問題を自分たちで解決することで、リーダーシップおよびフォロワーシップを実践的に学んだ。 体育科水泳実習は、今年から久美浜へ実習場所を変更。初めての場所で緊張感の高まる中での実習となり、終了後の生徒たちは自信に溢れ、</p>

府立汎愛高等学校

<p>イ 全教職員がカウンセリングマインドをもって生徒・保護者に対して丁寧な対応をおこない、生徒に寄り添った指導を粘り強くおこなう。</p> <p>ウ 生命や人権を大切にす精神を養い、生徒一人ひとりの人権意識の向上を図り、差別や偏見、いじめを許さない安心できる学校づくりをめざす。</p> <p>エ 障がいのある生徒の実態把握に努め、個々の教育的ニーズを検討し、合理的な配慮のもと必要な支援をおこない、環境整備に努める。</p> <p>(2) 基本的生活習慣を身につけるとともに、社会に役立つマナーへの意識を向上する。</p> <p>ア 基本的生活習慣を身につけ、安心・安全に学校生活を送れるように指導援助し、自立心を育む。</p> <p>イ 心身の自己管理をしっかりできるように指導し、学校の環境美化に取り組む態度を育成する。</p> <p>(3) 集団活動を通して、自主性や協調性を身につけ、集団の一員としての自覚を養う。</p> <p>ア 団活動・部活動・HR活動・学校行事を通して、生徒の積極性や自主性および協調性等を養い、リーダーシップやフォロワーシップを学ぶ。また、これらの活動を通</p>	<p>イ 教科・クラス・部活動のそれぞれの場面で個々に応じた指導を行い、自己肯定感や自己有用感を育む。</p> <p>ウ・いじめアンケートを年3回実施し、いじめに関しての実態把握に努めるとともに、あらゆる差別問題が重大な人権侵害であることを確認し、人権に関して理解を深める。いじめをなくすことを目標とし、生徒に講話をおこない、人権意識を向上させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権講演会・人権研修会、生徒向け人権通信を配布することを通じて多様な他者を認め、他者への思いやりのこころを育て、人権意識を向上させる。 <p>エ・気づきシートを活用し、生徒の実態を把握するとともに、特別支援教育への理解を深めるため、教職員間で情報交換を積極的に行い、共通理解のもと指導にあたる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒・教職員・保護者一人ひとりが他者を認め、障がいに対しての理解を深める。そのために、人権意識の向上を目的として、より実践的な人権研修会を実施する。 <p>ア 集団生活において、ルールを守る態度を育てるとともに、自他尊重の意識を高め、倫理性・自律性を深める。</p> <p>イ・生徒の身体的・精神的健康状態の把握に努め、生徒自身の健康管理意識の高揚を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境美化に対する意識の向上を図る。 <p>ア・部活動の参加生徒数を増加させ、各活動のさらなる活発化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動の充実を図り、計画的に会議の運営と広報活動に努める。 ・地域ボランティアへの参加も部活動単位や学校単位で積極的に行い、社会貢献への啓蒙を行っていく。 	<p>イ 転退学者を前年度より3割減らす。 [23名]</p> <p>ウ・講話においてアンケートを取り、肯定的評価70%以上を維持する。 [91%]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会・研修会のアンケートをとり、肯定的評価75%以上を維持する。また、人権通信を年に3回発行する。 [96%、0回] <p>エ・教職員の情報交換のもととなる特別支援教育に関する情報発信5回以上を維持する。 [11回]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい理解をテーマとする研修の実施。 [0回] <p>ア・懲戒を含む特別指導の件数を前年度より2割減をめざす。[3件]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間遅刻総数の延べ人数650人以内をめざす。(前年度比80%以内) [598件] <p>イ・検診等を通じて生徒の健康管理意識を向上させながら、自ら積極的に自分の体について管理・理解させるように保健指導の充実を図るとともに、受診勧告を受けた生徒の40%以上が事後処置を行うように指導する。[32.6%]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別収集を進め、厚生委員や各クラスの保健委員による清掃状況の確認やポスター制作などの啓発活動に取り組ませる。 <p>ア・部活動加入率80%以上を目標とする。 [78%]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動アンケートで、参加満足度80%以上を目標とする。[新規] ・生徒議会を計画的に開 	<p>一段と成長を実感することができた。</p> <p>2年修学旅行は委員を中心に準備を進め、人前で話す場面等、責任感が必要となる機会を設けた。</p> <p>1学年はHR合宿に替えて遠足を実施。また、11月の学年レクでは、HR委員を中心に企画・運営を行い、学年全体で充実した行事を実施した。</p> <p>イ・27名。(△)</p> <p>今年度は例年に比べて来室者が増加しており、養護教諭を中心に傾聴し、担任と連携しながら教室へ戻れるように働きかけた。クラスでの人間関係・部活動等の悩み、進路への不安等が原因だが、さらに生徒一人ひとりに応じた指導に取り組んでいく。</p> <p>ウ・講話における肯定的な回答は97%。(◎)</p> <p>引き続きいじめ事案の積極的把握に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手引き講習会を4回実施し、肯定的な回答は97%。(◎) ・人権通信(教員向け)は6回配信。(◎) <p>今年度の主な取り組み内容</p> <p>人権講演会「LGBTQ」「ネットいじめ」「同和問題」「いのちの大切さ(がん教育)」、「拉致問題」は、動画視聴を行った。</p> <p>エ・教職員の情報交換のもととなる特別支援教育に関する情報発信を15回行った。(◎)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月にSCによる発達障がいをテーマとする現職教育を実施した。(○) <p>ア・懲戒件数は5件。(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間遅刻総数は680件。(△) <p>遅刻数全体を見ると増加傾向にはあるが、体調不良(腹痛・頭痛等含)が圧倒的に多くを占めている。</p> <p>イ・総受診率は45%。(○)</p> <p>1学期に受診勧告を受けた生徒について、再度個々に連絡して説明の上、配付物を渡し指導した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別や教室美化は学校全体として取り組むことができているため、お手洗いや特別教室などに重点をおいて、厚生委員を中心に美化活動を行った。毎月、保健委員による啓発ポスターや保健だよりを発行した。(○) <p>ア・部活動入部率は77%。(△)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肯定的な回答は96%。(◎)
---	--	---	--

府立汎愛高等学校

	<p>して、時代に沿ったリーダーの養成に努める。</p> <p>イ 個々の生徒がコミュニケーション能力、協調性や責任感、考える力を身につけ、物事を広い視野で見ることが出来る能力を育成するとともに、望ましい集団づくりをめざす。</p> <p>ウ 学校行事や学年行事を通じて、生徒が主体的に活動に取り組むことにより、積極性や協調性を身につけ、社会に貢献できる人材の育成をめざす。</p> <p>エ スポーツを通して自己の人間力を高めるとともに、集団活動を通してリーダーシップ、フォロアーシップを学び、専門学科としての自覚と責任感を身につけさせる。(体育科)</p>	<p>イ 3学年縦割りの団活動を行い、学年相互の人間関係を築きながら生徒間の相互理解を深める。一年間の団活動を通じて、生徒自らが考え行動する姿勢を養う。</p> <p>ウ 個々の生徒が学校行事・学年行事を通じて、学年の一員としての自覚と責任感を持ち、協調して行事を行おうとする態度を育成する。</p> <p>エ 専門学科の各行事・実習において、達成感・充実感を得られるようにプログラムしていくとともに、生徒たちで企画・運営を行い、全員がリーダーシップとフォロワーシップを意識した実習になるように事前指導する。</p>	<p>催する。 [4回] ・「汎愛ニュース」の計画的な発行をめざす。 [5回] ・地域ボランティアに関して、部活動単位のみならず、生徒会や一般の生徒が積極的に参加できる環境づくりに努める。 [新規]</p> <p>イ 汎愛祭アンケートにおいて、団活動参加満足度を100%の水準に近づけることをめざす。 [新規]</p> <p>ウ 各行事、活動におけるアンケートの満足度 90%以上をめざす。 [新規]</p> <p>エ 各種実習や授業においてアンケートを実施し、リーダーシップ等に関する項目において満足度 80%をめざす。 [79%]</p>	<p>・生徒議会は4回開催 (○)</p> <p>・「汎愛ニュース」は5回発行済 (○)</p> <p>・年間を通じて校地周辺の地域清掃を、複数の部活動で実施。また、鶴見区民まつりには役所の要請を受けて複数のダンス・音楽・美術部の生徒を中心に参加した。また、女子バスケットボール部では、障がい者スポーツフェスタにおいてオフィシャル等のボランティアを行ったが、一般の生徒が積極的に参加する環境づくりまでは至らなかった。(△)</p> <p>イ 肯定的な回答は92%。(○)</p> <p>ウ・昨年度まで出来なかった行事を今年度は実施することができた。 実施済：校外学習、汎愛祭、修学旅行、球技大会 変更：1年生HR合宿⇒校外学習(遠足)に変更 アンケートにおける満足度は92.5%。(○)</p> <p>エ・各実習の満足度、達成感は年々高まっている。特にキャンプ実習においては生徒主体で実習委員を中心に組織的に運営し、100%に近い生徒が「充足感のあった実習であった」と回答している。(◎)</p>
<p>3 学校の組織力向上と開かれた学校づくり</p>	<p>(1)地域に根づいた開かれた学校をめざし、他校種の学校園や地域との連携を充実させる。 ア 地域との様々な関わりの中、地域に根づいた高校として、本校の魅力を積極的に情報発信する。</p> <p>イ 専門学科の特性を活かして、小中学校及び地域との連携を積極的に進め、生徒のリーダーシップ力と指導力を育む。</p> <p>(2)教職員の共通理解のもと広報活動を充実させる。 ア 本校の課題解決に向けて、全教職員が互いに問題提起、意見交換をおこなえる土壌をつくる。</p> <p>イ 計画的、組織的かつ積極的に広報活動に取り組み、学校PRにおいて、より一層の成果を上げ、本校の認知度の向上をめざす。</p>	<p>ア さまざまな取組を通して地域貢献や校種間連携にかかわり、生徒の社会性や能力を伸ばす。また、本校の魅力をさまざまな取組を通して発信し、PRする。</p> <p>イ 親子武道教室や汎愛フェスタを実施することで、地域との連携をつくり、また、生徒主体のイベントにすることで、生徒のリーダーシップやフォロワーシップを養う。</p> <p>ア 学校運営上の課題解決に向けて、全教職員の意識の向上と協働体制を構築するため、各分掌、委員会を通してタテとヨコのつながりを強化する。</p> <p>イ・在校生資料の充実を図り、早期に準備して中学校訪問を1学期より行う。 ・学校説明会・教員対象説明会・体験入学を継続して行い、本校へ来校する中学生・保護者の人数を増やす。</p>	<p>ア・可能な限りの取組を増やす。[0件] ・HPの更新を週2回以上おこなう。</p> <p>イ・生徒アンケートにおいて「積極的に取り組めた」の項目で80%以上をめざす。[新規]</p> <p>ア 意見交換や情報共有の場を昨年度以上に増やす。教職員アンケートにおいて、「分掌内、分掌間で連携をとっている」の項目において、肯定的評価を70%以上とする。 [R3 60%]</p> <p>イ・120校以上の中学校訪問をめざし、体験入学等の来校者数を増やす。[64校] ・学校説明会500名以上、体験入学650名以上の参加をめざす。 [学校説明会]</p>	<p>ア・地域連携の一環として10月の鶴見区民祭りに参加。区役所からも感謝の言葉をいただくとともに、区の広報誌に生徒の活躍を大きく取り上げていただいた(音楽部・ダンス部・美術部)。(◎) ・HPの更新は週2回以上。(○) 4月からの1日あたりの平均閲覧数は194.4回。</p> <p>イ・生徒アンケートの「積極的に取り組めた」の回答は88%。(◎) 今年度の取り組み内容 武道親子体験教室を5月・11月の2回実施。小学生用の柔道衣、竹刀、なぎなたを追加購入し、2回目は参加児童員がスムーズに体験することができた。参加者の8割以上が「内容への満足」「次回への参加を希望」回答。</p> <p>ア・運営委員会において、各学年・分掌の現状報告を毎回行い学校全体の流れを把握できるよう取り組んだが、学校教育自己診断の「分掌内、分掌間で連携をとっている」の項目において、肯定的評価は65.2%。(△) 今後、各主任・分掌部長を通じての情報共有をさらに働きかけていく。</p> <p>イ・中学校訪問は87件。(△)</p> <p>・学校説明会(計4回) 生徒・保護者841名(◎) 体験入学</p>

府立汎愛高等学校

<p>(3)健康で安心して働ける職場環境をつくり、汎愛高校の発展のために協働できる教職員集団をつくる。</p> <p>ア 教職員の健康の保持・増進のために、効率よい働き方を推進する。</p> <p>イ 本校の現状把握および改善に至る具体的方策を検討する。</p>	<p>ア 安全衛生委員会を中心に、教職員の健康状態並びに勤務状態を把握し、全教職員が健康で良好な職場環境で勤務できるようにする。</p> <p>イ 学校全体の現状把握および改善に至る具体的方策を検討し、各部や学年と連携して教育活動の推進を図る。</p>	<p>生徒・保護者 604 名 体験入学 生徒・保護者 507 名]</p> <p>ア 長時間勤務対象者を前年度より減少させる。 1月までの平均時間外勤務時間を50時間以内、かつ80時間超教員の割合20%以下をめざす。 [49時間31分、24%]</p> <p>イ 教職員評価アンケートにおいて、「教職員の共通理解のもと教育活動の改善に努める」が、80%以上であること。 [R3 64%]</p>	<p>生徒・保護者 405 名 (△)</p> <p>今後、さらに効果的な広報活動について検討していく。</p> <p>ア・平均時間外勤務は57時間57分。80時間超教員の割合は32%。長時間勤務者減少に向けて、次年度に向けさらに具体的方策を検討していく。 (△)</p> <p>イ・肯定的な回答が70%。(△) 本校としての方向性については、将来構想委員会で検討し、必要に応じて運営委員会を通じて教職員の共通理解を図った。</p>
--	--	--	--